

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園品濃町	種別：保育所
代表者氏名：白土 孝代	定員（利用人数）： 81名
所在地：〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町513-9	
TEL：045-825-6464	ホームページ：https://www.like-kd.co.jp/academy/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2009年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 13名
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師 1名
	保育士 24名 用務員 1名
	栄養士 4名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	乳児室2、保育室2 調理室1、幼児用トイレ4、休憩室1、医務室・事務室1

③理念・基本方針

こども理念  
のびやかに育て だいちの  
芽  
保育方針  
みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛  
信頼・安定・共感  
\*めざす保育園像\*  
●陽だまりのような保育園  
●地域と共に育つ保育園  
●子どもと共に輝いていける保育園

④施設・事業所の特徴的な取組

■自然を愛し、心身ともに健やかな子ども  
\* 歩く、走る、跳ぶなど戸外での活動をとおして、からだを動かす楽しさを伝えて  
います  
\* 自然と親しみ、情緒豊かな心・知的興味や関心を育て、思考力、認識力を培い、  
科学的に観察する力を持てる  
ようにしています  
■自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども  
\* 意欲・想像を掻き立てられる環境の中で子ども自らが主体的に行動し「やってみ  
たい」と思えるよう導いています  
\* 様々な遊びや実体験を通じ想像力を養いながら、正しいと思うことが分かり自分  
で行動する力、困難にも立ち向かい簡単にあきらめない心をもった子どもを育てます  
■「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども

- \* 相手の人権を尊重し、思いやりのある子どもが育つよう導いています
- \* やさしく愛され見守られる中で、人を愛したり、やさしくすることに喜びを持てるよう導いています
- 自己を表現できる子ども
- \* さまざまな生活の場面で、自分の思いを「自分らしく」表現できるようにしています
- \* 豊かな体験を通して物を見たり・感じたり・考えたりし、喜びや驚きを伝えられるようにしています

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月1日（契約日） ～ 2022年10月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成29年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

**園長は率先垂範によって事業の方向性を示唆し円滑な園運営に努めている**

園長は、保育士が楽しくやりがいを持って働けるよう環境を整えることを大切にしている。日常的な職員との関りをはじめ、定例会議を通じて必要な指示を出すとともにコミュニケーションを図ることに力を入れており、職員との個別面談において、目標達成のための助言や相談に応じているほか、質問・振り返りノートで個別にやりとりし、直接アドバイスすることで、日々の業務についても不安解消できるように取り組んでいる。

**中期計画やそれに基づいた年度の事業計画に沿った適切な園運営を定着させている**

法人として策定している中期の事業計画に沿って、園の現状や課題を加味して園としての中期計画を作成し、それらをもとに単年度の事業計画も策定され重点課題や実践計画が盛り込まれている。年間行事予定や園内研修計画なども立案されている。経営面では、園での日々の出金をデータ化して管理し、予算に応じて、保育に必要な物品を無駄なく購入できるようにしている。また、経営層は、職員の経験値の違いや得意・不得意分野を細かく把握し、各人に合った業務分担や配置に取り組んだり、毎日の職員シフト体制と利用人数を細かく時間帯ごとに分析したりして、人員不足でも残業を減らすことができ、最大限効率的に全ての業務が行えるよう、働き方改革を実行している。

**子どもに寄り添い、一人ひとりの状態に応じた保育の実践に力を入れている**

子ども一人ひとりの状態を把握し、クラスにかかわらずどの職員も同じ対応ができるように共有し実践に取り組んでいる。日ごろより園長、主任も子どもと過ごす時間を大切にしており、登園時にすぐに保育室に入れない時などは、廊下を歩いたり抱っこをしたりなど気持ちを受け止めながら援助している。また、共有が必要な事項があれば、その日のうちに話し合いの時間をつなどの体制も整えており、職員全体に浸透していることがうかがえる。

今後期待される点

**外部情勢によって運営の見直しが必要になった場合でも臨機応変な対応を目指している**

数年来の新型コロナウイルス対策によって計画に沿った活動ができないこともあったが、子どもには大切な一年であることから入念な感染対策を図ることによって行事を

工夫をし、園での生活がより豊かになるように努めている。子どもが楽しく生活する場として、保護者が安心して預けることができる場となる支援に努めている。ただし、例年は実施していた地域との様々な交流事業が十分に行えていないことを園では認識している。ブログ、掲示板やポスター展示などによって可能な情報発信には取り組んでいるが、新たな生活様式を迎えるにあたって、さらに地域子育て交流事業などの積極的な実施や配信を充実させることを目指している。

#### **保護者からの相談対応スキルを高めることを課題としている**

保護者から相談があった場合は、個人面談期間以外にも常時対応可能としており、個別に様々な内容に応じるように努めている。子育てに関する細かな相談には園長・主任が中心となり対応しているが、若い保育士も子育て相談の対応スキルを高めていきたいとの意欲を持っており、今後の「学び、実践」を課題としている。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園14年目を迎え、今回で3回目の第三者評価を受審いたしました。保護者の皆様には、第三者評価調査へのご理解、そして大変お忙しい中、アンケートのご協力を頂き、本当にありがとうございました。

当園では日頃より、園長が率先して保育の手本を示し、保護者の皆様や、職員とのコミュニケーションを密にし、園とご家庭との連携を大切にしながら、お子さまへの安全な保育を心掛け、園運営を行っております。

今回の評価はコロナ禍での実施という事もあり、日頃の保育についての振り返りの他に、感染予防対策や、新しい生活様式の中での保育の実施について考えさせられる、良い機会となりました。まだ、新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない中、事業や保育の計画をどのように立て実行するのか、保護者の方や地域の皆様からのご要望にどこまで対応出来るのか、今後も常に考え、運営して参りたいと思っております。また、子ども達一人ひとりに向き合い、より良い保育を行うため、さらなる全職員のスキルアップに努めて参りたいと思っております。

最後になりましたが、今回の第三者評価のために来園し、親身になり、調査やアドバイスを下さった、株式会社ケアシステムズの皆様に厚く御礼申し上げます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり